

羽田空港アクセス線について

1. 現在の羽田空港アクセス

1. 1 東京モノレール＝1964年のオリンピックに合わせて開業。JR東日本が親会社。JRの浜松町駅に連絡し、モノレール浜松町－羽田空港第3ターミナル間を空港直行列車の空港快速で、最短13分で結ぶ。

1. 2 京浜急行電鉄＝空港線(旧穴守線)は1902年開業。長らく穴守稲荷や沿線住民の生活路線として利用される支線にすぎない路線であった。1931年の羽田飛行場開業後は飛行場への旅客輸送も行われたが、1964年のモノレール開業後は空港輸送からは離れ、地域輸送に徹することになった。

しかし羽田空港拡張に際して、輸送力拡大に対応するために空港乗り入れが認められ、1993年に羽田駅(現天空橋駅)が、1998年には羽田空港駅が開業して本格的にアクセス線として機能することとなった。

京急線は泉岳寺より都営浅草線に乗り入れ、さらにその先の京成線・北総線・成田スカイアクセス線・芝山鉄道線に乗り入れる。羽田空港から成田空港方面へは、京急線・浅草線・京成線・北総線・スカイアクセス線経由の「エアポート快特・アクセス特急」が運転されていて、羽田と成田が乗り換えなしで結ばれている。

2. 羽田空港アクセス線(仮称)の計画について

・JR東日本によって、既存の鉄道ネットワークを活用し、多方面からの空港へのダイレクトアクセスを実現する「羽田空港アクセス線(仮称)」が計画されてきた。

→計画されているルートとしては、

1. 東海道線、上野東京ライン方面へ乗り入れる「東山手ルート」
2. 埼京線、湘南新宿ライン方面へ乗り入れる「西山手ルート」
3. 東京臨海高速鉄道りんかい線方面へ乗り入れる「臨海部ルート」

の3つが存在するが、このうち「東山手ルート」および「アクセス新線」を整備することが決定し、2031年の開業を目指して工事が進められている。

・「東山手ルート」および「アクセス新線」は、現在休止している大汐線の橋りょうや高架橋などを活用し、東京駅やその先上野東京ラインと宇都宮線・高崎線・常磐線方面からの空港アクセスを改善する。東京駅から羽田空港へは現在は約30分程度要するところ、乗り換えなく約18分で到着することが可能となる。

・「臨海部ルート」についても、「東山手ルート」と同時の2031年の開業を目指して調整が進められている。東京モノレールに乗り換えて約40分かかる羽田－新木場を20分ほど短縮し、東京ディズニーリゾート最寄りとなる舞浜駅へのアクセス向上を見込んでいる。

・東武線との直通も実現するか

・2016(平成28)年の交通政策審議会の答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」には羽田空港アクセス線の「東山手ルート」の中で宇都宮線と、さらにその先の東武線との直通運転の可能性について述べられている。これによって、東武伊勢崎線・日光線方面と羽田空港が一本で結ばれることになり、日光などへのアクセス向上が見込まれる。

参考文献

- ・鉄道コム「羽田空港乗り入れから 20 年 京急空港線の歴史をたどる」 2018 年 11 月 22 日
<https://www.tetsudo.com/special/report/20181118/>
- ・JR 東日本ニュース「羽田空港アクセス線（仮称）の本格的な工事に着手します」 2023 年 4 月 4 日
- ・共同通信「臨海部ルート、31 年度開業へ 羽田空港アクセス線、JR 東日本」 2024 年 7 月 24 日
<https://news.yahoo.co.jp/articles/f9772fe9c2e129eed4b73bed6ef5e01fc5b904a0>
- ・乗りものニュース 「伊勢崎線に続き日光線も？ 東武鉄道「羽田空港」直通は実現するか 夢の北関東から 1 本」 2024 年 10 月 15 日
<https://news.yahoo.co.jp/articles/6684c59e0efcfca4c5d364c849e0a68bfa401e11>

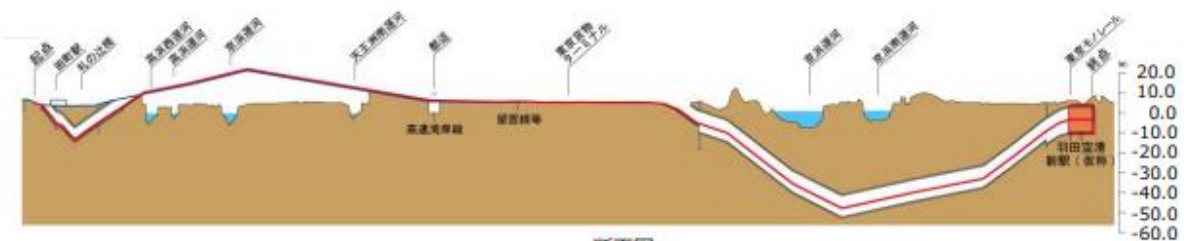
※以下の図は JR 東日本ニュース「羽田空港アクセス線（仮称）の本格的な工事に着手します」から引用



3.「東山手ルート」および「アクセス新線」の工事概要



平面図



断面図